

今号の主な記事

- 人をはぐくむ、住み続けたいまち西宮4・5面
- 阪神・淡路大震災10周年
西宮市犠牲者追悼式2面
- 新春クイズ~4つの宣言都市西宮...8面

にしのみや
西宮 **市政** **に**
ニュース
Nishinomiya Muni. Bulletin

毎月10日・25日 2回発行

発行 / 西宮市役所
〒662-8567 西宮市六湛寺町10番3号
TEL / 0798-35-3151(代表)

編集 / 総合企画局情報政策部
広報グループ
TEL / 0798-35-3400
Eメール / vo_kouhou@nishi.or.jp



「飛翔」

撮影：中村年延

市制80周年を迎え~愛と希望あふれるまちへ、さらなる一歩

明けまして、おめでとうございます。市民の皆さんにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととおよろこび申し上げます。昨年11月の市長選挙で、市民の皆さんのご支持をいただき、引き続き市政運営を担わせていただくことになり、身が引き締まる思いです。

今年、市制80周年を迎える記念すべき年にあたり、新たな船出の年でもあります。忘れてはならない、阪神・淡路大震災から10年目の年でもあります。今後の施策の基本政策として、引き続き「安全で安心して暮らせるまちづくり」を推進し、災害に強いまちづくり、緑豊かな美しいまちなみを実現してまいります。

魅力いっぱい西宮

震災後40万人を切った人口も、震災前の数字を上回り、約46万人にまで増加しています。これは「文教住宅都市」をはじめとした、西宮市の生活環境の快適性(アメニティー)が豊かであるからだと思います。この貴重な財産を効果的に生かしながら、さらに質の高い、元気なまちをめざします。

参画と協働の市政運営

これまで、市内各所へ外出き、市民の皆さんをはじめ様々な分野の方と語りあってきました。西宮市のことを真摯(しんしん)に思う皆さんから、貴重なご意見をいただいています。今後も、各施策で市民の皆さんの意見をいただき、皆さんと共に参画と協働の市政運営を、引き続き進めていきます。

西宮市が直面する財政状況

厳しい財政事情を乗り越えていかなければならない、という大きな課題もあります。西宮市は震災後、2次にわたり「行財政改善」に取り組み、人口増加にもなう市民ニーズにも対応してきました。しかし、市税等の減収、震災復興で発行した市債の償還が依然として高水準にあることから、平成17年度から20年度まで、「第3次行財政改善」に取り組むことになりました。また、市の行政運営の仕組みを変える行政経営改革を進めます。人件費などの内部管理経費を抑え、市民サービスを極力低下させることなく、財源不足対策に取り組み、克服してまいります。

直面する困難な時期を打開していくためには、皆さんのご理解・ご協力が不可欠です。流れの速い時代の変化にも揺るがない、笑顔の輝くまちづくり、活力にあふれたまちづくりに、共に取り組んでいきましょう。



山田知市長

山田知